

会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度 第1回ながおかヘルシープラン21策定・推進協議会
2 開催日時	令和5年7月24日（月曜日）午後1時から2時まで
3 開催場所	さいわいプラザ 4階 大ホール
4 出席者名	<p>(委員) 草間委員 笠井委員(代理) 佐藤委員(代理) 武井委員 佐藤委員 丸山委員 熊倉委員 室賀委員(代理) 小畑委員(代理) 五十嵐委員 鈴木委員 小坂委員 星野委員 太田委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部：水島部長、健康増進課：五百川課長、曾根課長補佐、荒川係長（成人保健担当）、久保係長（生活習慣病予防担当）、井口係長（こころの健康づくり担当）、田中係長（食育担当）、油谷主査、上石保健師、江村保健師、小川保健師、池田主事、小見主事、丸山会計年度任用職員</p> <p>※関係課は、書面会議。</p>
5 欠席者名	丸田委員
6 議題	第3次ながおかヘルシープラン21について
7 審議結果の概要	議題は承認された。 資料を基に意見交換を行った。
8 審議の内容	
事務局	<p>○開会 ○資料の確認</p>
委員長	<p>○委員長あいさつ ヘルシープランを何年も取り組んできたが、コロナ禍のこの3年間は本当に大変だったと感じている。</p>

	<p>その中でまた新たなプランを作っていくということだが、事業所の方たちが健診することとは違い、個人事業主の健康診断や健康増進、それから母子保健や子どもの教育・健康など、色々なところに改めて目を向けていかなければいけないと思っている。本日は皆様に御討議いただき、プランの作成に向けて御協議をいただきたい。</p>
事務局	<p>○議題 第3次ながおかヘルシープラン21について、事務局から説明願う。 (資料「第3次ながおかヘルシープランについて」をもとに説明)</p>
委員長	<p>意見書について、事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>(資料「書面会議意見書」をもとに説明)</p>
委員長	<p>ただいまの説明について質問等はあるか。 無ければ、議題について1人ずつ意見をお願いしたい。</p>
	<p>12年間のプログラムということで、先を見通すのは大変な計画だと思うが、1次、2次の計画で、「何をやったらどれぐらいの結果が出たのか」という点を明確に示したうえで次の計画を進めると、説得力のあるものになると考えている。 また、次のチェック(中間報告)が5～6年後にあるが、長岡市内に大きな医療再編があるとか、大きな災害が発生するなど、変更を余儀なくされることもあるだろう。 そのようなところも踏まえ、臨機応変にタイミングを調整して計画を進めていただきたい。</p>
委員	<p>現在、壮年期における歯科保健の関心が向上しているという部分について、長岡市では、子どもの(歯の)対策に関しては上手くいっており、虫歯の数や要治療の数が大分減少している。それに反して、成人の歯周病率は高い傾向にあり、壮年期の虫歯や歯周病への対策が現状進んでいないと感じる。 数年前に、市民の歯周病検診に30歳を導入したが、思ったように受診率は上がっていないため、今後はより若い世代まで広げて、可能</p>

委員	<p>であれば 20 代から、歯周病への関心を高めていこうと検討している。</p> <p>冒頭、委員長のお話でもあったが、コロナ禍の 3 年間を振り返ると、本人に症状が無いことから生活習慣病の受診を途中で止めてしまった方や、会社が行っている健康診断を受けることができなかつた方などがいる。</p> <p>コロナ禍の 3 年間の影響が悪い方向に出ないよう、ヘルシープラン21の目標を策定して、少しでも市民の健康を維持し、向上させていく必要があると考える。</p>
委員	<p>今年度から任用になった。自分の立場で何ができるか考えて取り組みたい。</p>
委員	<p>商工会議所でも、従業員や事業主の健康といった視点から、健康経営に繋げるような取り組みを実施している。</p> <p>健康といっても多岐に渡るので、委員の皆様と連携しながら、様々なことを学ばせていただきたい。</p> <p>また、先ほど委員長のお話にもあったとおり、個人事業主の受診率が低い傾向にあり、自身の健康を振り返ることが少ないのではと感じている。</p> <p>ただ、受診勧奨の継続は必要だと考えているので、当所の方でも引き続き健康増進に向けて取り組んでいく。</p>
委員	<p>前回発言させていただいた、「コミュニケーションや人と人との繋がりが大切」という意見を計画案に含めていただき感謝申し上げます。</p> <p>地域福祉を推進する社会福祉協会では、地域の支えあい活動、ボランティア活動、福祉教育を推進していく。</p> <p>現在、人口が減少していることや個人の価値観の変化などによって、地域のつながりや人とのつながりがとても希薄になっていると感じる。</p> <p>そのような社会状況の中で、ヘルシープラン21の基本理念や基本方針が非常に重要になると考えており、特に基本方針の 2 つ目に記載の「社会とのつながり・こころ健康の維持及び向上」は、課題解決において大切だと感じている。</p> <p>そしてやはり、健康増進のための基盤整備の視点も大事だと感じている。</p>

委員	<p>青年期から壮年期、高齢期にかけては、学校のように大勢が一堂に会する機会は少ないため、地域の行事やサロン、スポーツなど、地域活動が活発になることで、人のつながりは生まれていくと思う。人の集まりやすい環境づくりを地域の状況にあわせて進めてほしい。</p> <p>栄養士会として何ができるかと考え、市の現状と課題にもある、CKDや糖尿病の改善に向けた取り組みを、2次計画の途中から長岡市より受託し、市民の方への支援をしている。</p> <p>コロナ禍もあってか、以前指導した方々からの支援の依頼が再度来るなど、生活改善の成果につながっていない事例もあり、栄養士会としての関わり方の難しさを感じている。</p> <p>今年から支援の仕方も少しずつ検討しつつ、生活習慣病の発症予防や重症化予防に力を入れていきたい。</p>
委員	<p>スポーツ協会は、スポーツや運動、遊びといったプログラムを活用し、市民の皆様健康になってもらえるように取り組んでいる。また、スポーツ推進計画やヘルシープランに沿って、小さな子どもからお年寄りまでが、スポーツを通じて身体を動かしてもらうような場づくりを進めている。</p> <p>子どもの健康には運動が非常に重要であると考えており、スポーツ協会では、約50校の小学校がある中で、35～40校の小学校で放課後の運動あそび教室を展開している。</p> <p>子どもが身体を動かすということは、幼少期からの生活習慣病の予防につながり、集団で群れて遊ぶ経験によって、前頭葉の発達の促進や、対人関係の基礎が構築される効果があると考えている。</p> <p>近頃の子供達は、放課後すぐにそれぞれの児童クラブに行くので、みんなで遊ぶ機会が少ない。そんな中で、スポーツ協会としては、もっと子どもたちに運動する機会を設けたい。</p> <p>予算的にどうしても受益者負担になっているため、金銭的、経済的な困窮家庭の子どもが参加できない等、子どもの運動あそびを広げていくうえで、まだまだ課題があると感じている。</p> <p>また、中学校では、令和7年の秋頃から休日の部活動が地域に移行され、令和9年には平日の部活動も地域に移行する。このことによって、部活動は家計負担がかかるものになり、ある種の強制力も失われるため、子どもたちはほとんど地域でスポーツをやらなくなるのではと懸念している。</p>

	<p>そのような背景もあり、子どもたちの運動習慣のために、スポーツ振興課や教育委員会と連携を取りながら、子どものスポーツ人口を減らさないための受け皿を用意している。</p> <p>一方、大人は黙々と1人でトレーニングをしたがるが、テニスやバドミントンをすることで寿命が延びるといふ大学の研究結果もあるので、今後は、大人が集まってスポーツができる場も作っていきたくと考えている。</p> <p>また、長岡の場合、コミュニティ単位でスポーツを広げるときにコミュニティセンターが核となって輪を広げていこうとすると、コミュニティセンターの職員の負担が非常に大きくなってしまふことが、推進していく上での障壁となっている。</p> <p>地域でのスポーツ活動の展開は、委員の皆様や健康増進課とも意見交換しながら進めていく必要があると感じている。</p>
委員	<p>これから進めていく第3次ヘルシープランでは、12年間という長い期間で数多くの項目に取り組んでいくことになるが、PDCAサイクルを確認しながら継続していくことは大変だろうと思う。</p> <p>また、「健康寿命を延ばそう」というスローガンのもと、食生活改善推進委員は活動しているが、ピーク時と比べ委員数が半減しているため、その減少を食い止めるという課題もある。</p>
委員	<p>現在、糖尿病の子が増えていて、子どもの「就寝時間が遅くなること」や「食事のバランスの悪化」が及ぼす悪影響について、常々提言している。</p> <p>母子保健推進委員協議会としては、月に1回、子育ての駅でままりラカフェの活動を行っているので、そういった場で、今後もお母さん方と話し合いができるとうい。</p> <p>また、子育てをしているお母さんは、子どものことを第一に考えてしまうため、自身の栄養や健康を軽視してしまう傾向にある。</p> <p>コロナの期間はあまり活動ができなかつたため、現在は、お母さんが気軽に栄養がとれる食べ物をまとめた資料を作成、配布したり、口頭で情報を提供するなど、積極的に活動を行っている。</p> <p>最近コンビニのお弁当やスーパーのお惣菜でも栄養のバランスを整えることができるので、今後は、手間をかけずに母子ともに健康になる方法を伝えていきたい。</p>

委員	<p>現在、長岡市老人クラブ連合会の活動は、おおよそ 80 歳から 90 歳の方がの主体になっている。</p> <p>それに伴い、活動のメニューも、高齢の方のニーズに合うように時間短縮や簡素化を図っている。</p> <p>今の社会状況を見ますと、定年を迎えると、女性はある程度活発なものに対し、男性は家庭にこもってテレビの番人になってしまう状況が多い。</p> <p>老人クラブは、そのような方々を輪に入れることで、プランの基本方針にあるような、「社会とのつながり・心の健康の維持及び向上」において、非常に大きな役割を果たすことができると考えている。</p> <p>ただし、老人クラブが地域のつながりを生む重要な役割を担っていることは、なかなか認知されていない。</p> <p>これからは、様々な対策を立てつつ、ヘルシープランの方針に基づいて皆さんと協力していきたいと思っている。</p>
委員	<p>新潟県産業看護部会は、入社してから 65 歳くらいまでの方たちを中心として、青年期・壮年期・高齢期を対象とした健康づくりを行っている。</p> <p>その中で、このヘルシープランは、我々のような産業保健に携わる者がいないところが対象になるのではと考えている。</p> <p>このわずかな時間でも、知らないキーワードが出てきて、非常に学びが多い。産業保健を推進するような公的な資源を、上手くヘルシープランに繋げていきたい。</p>
委員	<p>私どもの本年度の目標として、中小企業の事業所の健診受診率向上を掲げている。</p> <p>新潟県全体としては、健康経営を推進している企業さんへの働きかけは円滑に行われたが、中小企業（特に個人事業主）の方々の健康状態が把握しにくいいため、そのような方々の実態を調査したいと考えている。</p> <p>第 3 次ながおかヘルシープラン 21 は素晴らしいものだと思うが、基本目標に掲げられている「健康格差の縮小」について、資料の 8～9 ページにある目標のうち、どの部分が健康の格差の縮小に役立つか、長岡市がどのような点で健康格差を捉えているかを明確にしたうえで取り組みを考えていただきたい。</p>

<p>委員</p>	<p>コロナ禍で、「格差の悪化」が浮き彫りになってきた。</p> <p>大変な思いをしている人たちには、容易にアプローチができない現状の中、3次計画の中の「環境づくり」は、格差を是正するための場（地域にアクセスしやすい場所をつくる）として重要になっている。</p> <p>例えば、子育て支援等が格差の改善に繋がる。小さい頃からの教育等が大事であり、第3次ながおかヘルシープラン21の計画では、スポーツや運動という分野もアピールされている。</p> <p>ただ、人手不足等が課題となるため、なるべくアクセスしやすい場所に大勢を集めて活動を行ったり、スポーツ等の楽しさとつなげるなど様々な工夫をすることで、より参加者も増え、格差の解消につながると考える。</p> <p>第3次計画では「誰も取り残さない」という言葉がキーワードを掲げているので、一番困ってる人たちにどのようにアプローチするかという点を重視し、第3次計画では少しでも格差を改善していきたい。</p> <p>改善のためには、やはり、集まることができる場を作ることや、人のつながりを作ることが大切なので、ヘルシープランを進めていく中で、目標に適した自主性のあるリーダーを確保して、そこから自然につながりが広がっていくような場を作られていくことを期待している。</p> <p>1次、2次の計画では、リーダーを先に集めた後にヘルシープランを開始することができたが、現在はマンパワー的にも困難な状況。今回の計画は、ここにいる方々以外の部署とも連携することが求められる。（公園利用や雪の時期の環境づくりなど）</p> <p>第3次ながおかヘルシープラン21は、今までの計画と繋げ、大勢の人との協働によって、「長岡が住みやすい場所である」アピールにもつながるような目標設定になって欲しい。</p> <p>ここにいる部署の人だけでなく、他部署との連携も通じて、何か次のアクションにつなげていただきたい。</p> <p>この計画の最終的な目標は、糖尿病や脳卒中の予防によって健康寿命を延ばすことである。先は長い計画ですが、皆さんと協力しながらひとつずつ進めていければと思っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>皆様が真面目に取り組んでおられる話を聞いて、大変心強く感じました。行政をはじめ皆様の御協力をお願いしたい。</p> <p>第3次ながおかヘルシープラン21概要（案）について、拍手をも</p>

事務局	<p>って承認願う。(拍手多数で、議題は承認。) 進行を事務局にお返しする。</p> <p>健康づくりに関することで情報提供等があれば、発言願う。</p>
委員	<p>皆様のお話をお聞きし、課題解決に向けそれぞれ努力していても、そこに飛び込んできてくれる人がなかなかいない現状があるのだと感じた。</p> <p>健康な方は、健康を維持しようと活動に積極的に参加するが、本当に来てほしい個人事業主は、未だ参加率が低い状況である。</p> <p>アメとムチを使い分け、健康意識が低い方も誘い出してほしいと思う。</p>
委員	<p>テレビの前で何をすることもなく、間食をして過ごすといった行為が、本計画に挙げられているような病気の発症につながっている。</p> <p>一方、老人クラブのメンバーに誘われて活動に参加した人は、グラウンドゴルフやゲートボール等のスポーツに興味を持って毎日のように運動をしており、健康そのものである。</p> <p>また、先日 93 歳の方がスポーツ大会に出ていたが、それもやはり女性で、これからは男性が強くなる方法も考えたいと思っている。</p>
事務局	<p>健康と一口に言っても、数多くの分野・領域があるので、様々な切り口で皆様と協力しながら、引き続きヘルシープランを進めてまいりたいと思う。</p> <p>閉会にあたり、福祉保健部長より御挨拶申し上げます。</p>
福祉保健部長	<p>本日はお忙しい中、御出席をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>「健康」は本当に色々な切り口があるため、健康に関するバックボーンをお持ちの皆様の御発言を聞き、改めて多方面の方々から支えていただいているのだと感じた。</p> <p>国から様々な要求を受ける中、数多くの課題もあるため、我々としても苦慮する状況が多いです。</p> <p>加えて、高齢化率の上昇や、高齢者の独居世帯の増加だけでなく、</p>

事務局	<p>介護認定等の原因となる脳血管疾患等も全国平均を上回っている、という現状が長岡市にはある。そして、子育て期の若い方々など、忙しくて健康に気を遣えない方々もいる。</p> <p>色々な課題はあるが、市民の中で「心と体が健康であること」を願わない人はいないので、市民生活の根幹に関わることとして、皆様の意見をお聞きしながら丁寧に進めていきたい。</p> <p>なお、計画を作ることが全てではなく、いかに取り組んでいくかということが重要である。</p> <p>会議の時間は限られているが、意見や感想が後々出てきたら、健康増進課の方にお寄せいただきたい。</p> <p>引き続きの御協力をお願いさせていただき、私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>○閉会</p>
<p>9 会議資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 第3次ながおかヘルシープラン21について</p> <p>(3) 参考資料 厚生労働省「次期国民健康づくり運動プランの概要」</p> <p>(4) 令和5年度ながおかヘルシープラン21策定・推進連絡会議グループ名簿（案）</p> <p>(5) 書面会議意見書</p> <p>(6) 第2次ながおかヘルシープラン21重点取り組みの評価 様式1及び様式2</p> <p>(7) 長岡市歯科保健計画 健康目標に対する指標項目</p>	